

佐渡金銀山世界遺産候補に

政府決定 県と推薦書作成へ

政府の世界遺産条約関係省庁連絡会議が6日午前、外務省で開かれ、本県の「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」と「百舌鳥・古市古墳群（大阪府）」の2件について、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の暫定リストに記載することを正式に決めた。国内の世界文化遺産候補は計13件となった。

会議には文化庁や外務省など7省庁の担当者が出席。6月に開かれた文化審議会の世界文化遺産特別委員会で暫定リスト入りの方針が決まっていた佐渡鉱山などについて、追加記載を正式決定した。

会合後、文化庁の三谷卓也世界文化遺産室長は「暫定リスト入りは始ま

りすぎない。世界遺産としての普遍的価値をどう強調していくのか、長期的な取り組みが必要だ」と述べた。

佐渡鉱山の世界遺産登録をめぐるのは、県と佐渡市が2006年、提案書「金と銀の島、佐渡」を文化庁に提出。08年、すでに世界遺産に登録されていた石見銀山遺跡

登録に向けて、政府と県は今後、遺産登録に必要な推薦書を協力して作成する。県は有識者でつ

このほか暫定リスト入る「佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会」を9月に発足させ、推薦書作成に向けた動きを始めている。

「百舌鳥」は4世紀後半から6世紀前半、大阪平野南部に造営

課題越えて
早い実現を

佐渡市長

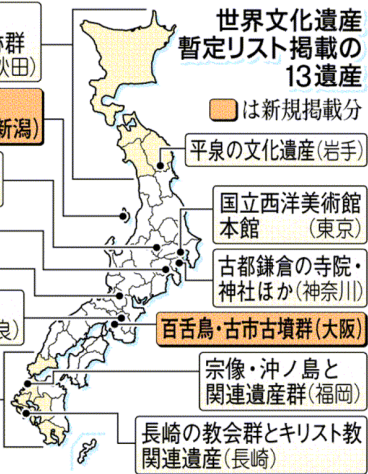
仁徳天皇陵など約90の古墳からなり、ピラミッドなど世界のほかの巨大墳墓に並ぶ価値があると考えられた。

佐渡金銀山の世界遺産暫定リスト入りが正式決定されたことを受け、佐渡市の高野宏一郎市長は

6日、「この結果を素直に喜びたいが、世界遺産登録までには乗り越えなければならぬ課題が多く残されている。国や県との連携をさらに強め、一日も早い登録実現へ取り組んでいきたい」とコメントした。



世界遺産の暫定リスト入りが決まった佐渡鉱山のうち、中核となる相川金銀山遺跡の「道遊の割戸」



世界文化遺産暫定リスト掲載の13遺産

■は新規掲載分

平泉の文化遺産(岩手)

国立西洋美術館本館(東京)

古都鎌倉の寺院・神社ほか(神奈川)

百舌鳥・古市古墳群(大阪)

宗像・沖ノ島と関連遺産群(福岡)

長崎の教会群とキリスト教関連遺産(長崎)

北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群(北海道、青森、岩手、秋田)

金を中心とする佐渡鉱山の遺産群(新潟)

富岡製糸場と絹産業遺産群(群馬)

富士山(山梨、静岡)

彦根城(滋賀)

飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群(奈良)

九州・山口の近代化産業遺産群(山口、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島)